



しじゅうから

福島市小鳥の森通信2017年3月号 No.376

小鳥の森で観察してみよう 65

マキノスミレ

分類：スミレ科スミレ属

大きさ 花びら：8~11mm
葉：2~4cm

生態：やや日陰の林に生育する。
春の始めに赤っぽい紫色の花を咲かせる。
葉の表は深緑色、裏は紫色。

小鳥の森での観察：
小鳥の森では比較的に見つけやすく、
各コースに普通に生えている。



よこやま こうた
Rと二

今回の絵は、よこやま こうたさんが描いてくれました!



3月の自然予報



昨年(2016年)の3月は、雪がほとんどなく、いつもの年と比べると、一週間くらい春の花が早く咲き始めました。

昨年(2016年)の花の咲いた記録を調べると、3月12日にはもうシュンランが咲いていました。シュンランを漢字で書くと「春蘭」と書き、小鳥の森では春を知らせてくれる花の一つです。

また、小鳥の森の中で、たくさん見られるカタクリは、17日に最初の花を咲かせ、31日頃には満開になりました。

その他にもスミレの仲間や元々日本に生えるタンポポ(エゾタンポポ)などが花を咲かせていました。

今年(2017年)はいつ頃から花を見ることがきるのでしょうか。今から楽しみます。

開花日	種名
2016/3/12	シュンラン
2016/3/17	カタクリ
2016/3/16	ショウジョウバカマ
2016/3/23	マキノスミレ
2016/3/24	センボンヤリ
2016/3/25	キクザキイチゲ
2016/3/28	エゾタンポポ



2月の自然

節分が過ぎ暦の上では春が訪れましたが、底冷えが続く冬模様の小鳥の森でした。

雪がちらついた9日、「フィーフィー」と細い口笛のような鳴き声がネイチャーセンター近くで聞こえました。足元を見ると、まだ硬いサクラの蕾(つぼみ)が散らばっていて、その蕾はスッパリと裂かれていました。

これは、ウソが食べた痕(あと)で、くちばしで器用に切り開き、真ん中の柔らかい部分だけを食べていました。とても小さな蕾なのでお腹がいっぱいになるためには、かなりたくさん食べなくてははいけないのではないのでしょうか。そのことを物語るように、木の下一面に食べかすが落ちていました。

体長15cmほどの丸い体に黒い顔、そしてオスはピンクの喉がトレードマークです。ウソの姿はネイチャーセンターだけでなく、自由広場でも見ることができました。ウソが小鳥の森から山地に移動してしまう本格的な春が来る前に、皆さんも声や姿を探してみてくださいはいかがでしょうか。



サクラの蕾を食べるウソ

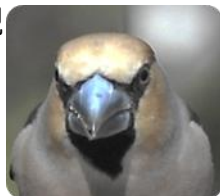


ウソが食べたサクラの蕾

小鳥の森スタッフだより

シメのくちばし

太いくちばしにいかつい顔をしたシメ。小鳥の森では10月末～4月ごろに観察できます。小鳥の森の給餌場にも集まり、仲間や他の鳥とケンカしながら食事をしているのを観察できます。



シメのくちばしのかむ力は、シメを正面から見た顔30kg以上ととても強く、他の鳥が食べにくい固い実も食べることができます。また、季節によってくちばしの色が変化します。小鳥の森に渡って来た10月ごろはピンク色をしていますが、3月ごろから光沢のある鉛色に変化していきます。これはくちばしの外皮がはがれることで変わっていくようです。

シメのくちばしが鉛色に変わるころ、小鳥の森にも春がやってきます。野鳥のちょっとした変化で季節の移り変わりを知ることできます。ほかの野鳥たちはどんな変化があるのでしょうか。(チーフレンジャー 長渡 真弓)

お山の大将あつまれ 参加者募集しています

現在、小鳥の森では「お山の大将あつまれ」の次年度メンバーを募集しています。お山の大将あつまれの対象は、小学生とその親(小学2年生までは保護者同伴)で、小鳥の森を会場として、自然体験やキャンプ、クラフト体験などを年10回行います。

第1回目は、4月29日(土)「説明会と竹のクラフト」を行います。

時間は10時～13時です。(5分前にはお集まりください)参加希望の方は小鳥の森ネイチャーセンターまで電話でお申し込みください。参加費の300円は当日受付でお支払いいただきます。



昨年の活動の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間: 午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日: 毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2017年3月号No.376/企画・発行: 福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま